

安蔵寺山のキレンゲショウマ群生

8/14 キレンゲショウマは恐羅漢山の北側亀井谷と、ウラオレ谷が良く知られていますが、安蔵寺山の群生は比較にならない程素晴らしいとの情報で、見に行きました。安蔵寺山トンネル入口の登山口から近いので計画しましたが、ナビのセットミスでさらに北の燕岳登山口に行ってしまいました。駐車場は広いのですが、道が狭く一部未舗装道路でした。



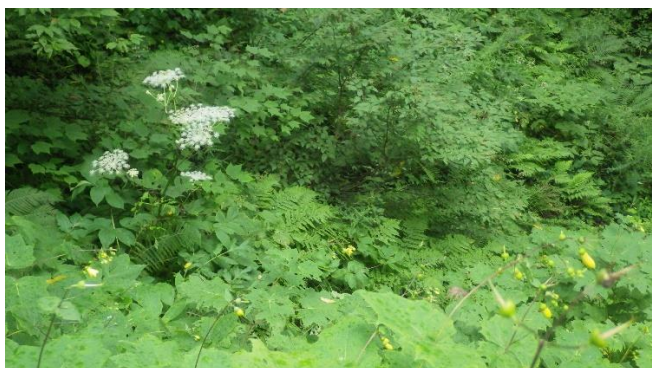
安蔵寺観音とトイレ（管理が悪い）



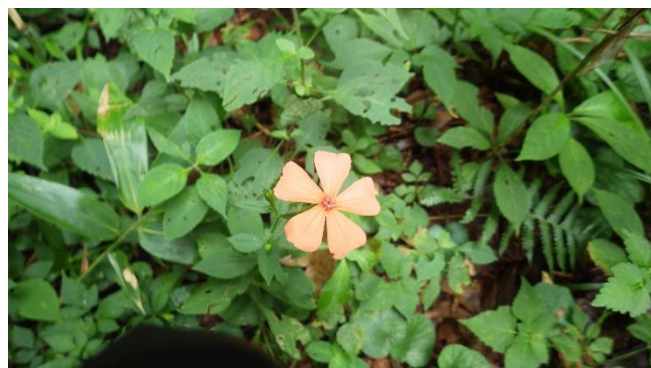
登山口周辺はオオキツネノカミソリ群生

登山道は雨で少し荒れていますが、刈込がされていて足元が明るい。マムシ6匹に会う。安蔵寺山トンネル分岐まで1：40のロスだったので、トンネル入口の登山口から登るのが正解です。ここから道はさらに歩きやすくなります。登山道沿いはマルバフユイチゴの赤い実が続き、食べながら歩きました。《安蔵寺山山頂まで1.6 km、芦谷合流点⑤》の指導標があるところから、谷に下降する道があります。朽ちたベンチあり。ここから谷に下ります。道は急降下で滑りやすく、数本のロープを頼りに下るとキレンゲショウマの群生が広がります。今見頃で、美しい花がずっと下の斜面にまで広がっていました。靴も手も泥だらけ覚悟です。（小雨の中だったので）





シシウド



フシグロセンノウ



トチバナジンジンの赤い実



ヤマジノホトトギス



縦走路にある《ナラ太郎》と呼ばれて親しまれていた大ミズナラは近年倒れてしまいました。

安蔵寺山はブナを始めとした杉を含めて巨木が多くあります。植林と自然林が混在していますが、深い緑の中は癒しの空間です。別名《マムシ山》とよばれて、マムシが多いリスクがありますが、四季を通じて訪れたい山です。麓は野鳥の宝庫でもあります。

安佐岳友クラブ 大藤